

# 横浜さかえ男声合唱団

## 第9回 定期演奏会



平成29年5月21日（日）

開演14時

横浜市栄公会堂ホール

後援/横浜市栄区 栄区文化協会 栄区音楽協会

## ご挨拶

本日は、お忙しい中、私たちの第9回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

私たちの合唱団は、もともと栄区が戸塚区から分区した30年前に誕生した「栄区民合唱団」の男声部が前身です。

男声部は平成13年10月に「横浜さかえ男声合唱団」として独立し、堀部隆二先生を迎え、また団員指揮者として角祐一が加わり、毎週土曜日は欠かさず練習に励んでおります。

地域の活動では、音楽協会の合唱祭、南部病院でのロビーコンサート、老人ホームの訪問演奏など多方面の活動をしています。

さて本日の第1ステージは皆様が良くご存知の佐藤真作品「旅」で混声合唱版から男声合唱版に編曲されたものです。第2ステージは愛唱歌集、第3ステージは10年程前に定期演奏会で演奏した清水脩の男声合唱組曲「月光とピエロ」を各方面のご要望に応じて再演します。第4ステージは横浜さかえ男声合唱団第9回定期演奏会のために生前の磯部先生と親交のあった堀部先生が数ある磯部作品の中から選曲して特別に「いそべとし記念男声合唱団」に製作していただいた曲集をここで演奏させていただきます。

高齢化の社会と言われて久しいですが、まだ私達は若い気持ちです。今日は日頃の練習成果をお聴きいただき、忌憚のないご意見を賜れば幸いです。

団長 池田 勝敏

# プログラム

## 第1ステージ 男声合唱曲集「旅」

	指揮	堀部 隆二	作曲	佐藤 眞
			ピアノ	飯田 由紀子
旅立つ日	作詞	田中 清光		
村の小径で	作詞	山之井 慎		
旅のよろこび	作詞	山之井 慎		
なぎさ歩めば	作詞	山之井 慎		
かごにのって	作詞	田中 清光		
旅のあとに	作詞	田中 清光		
行こうふたたび	作詞	田中 清光		

## 第2ステージ 愛唱曲集

	指揮	角 祐一	ピアノ	首藤 亜希
Agnus Dei	原典	ミサ曲	作曲	Charles Gounord
Be Still My Soul	訳詞	Jane Borthwick	作曲	Sibelius
婆やお家	作詞	林 柳波	作曲	本居 長世
秋の女よ	作詞	佐藤 春夫	作曲	大中 恩
大地讃頌	作詞	大木 惇夫	作曲	佐藤 眞

～ 休 憩 ～

## 第3ステージ 男声合唱組曲「月光とピエロ」

	作詞	堀口大学	作曲	清水 脩
	指揮	堀部 隆二		
I. 月夜	II. 秋のピエロ	III. ピエロ		
IV. ピエロの嘆き	V. 月光とピエロとピエレットの唐草模様			

## 第4ステージ 磯部 俣 男声合唱名曲集

		作曲	磯部 俣	
	指揮	堀部隆二	ピアノ	首藤 亜希
ヤマアラシ	作詞	まど・みちお		
びわ	作詞	まど・みちお		
いねかり	作詞	まど・みちお	編曲	玉田 元康
鬼やんま	作詞	中村 千栄子	編曲	須賀 敬一
いちじく	作詞	小林 純一		
さくらはなさん	作詞	まど・みちお		
風の四季	作詞	中村 千栄子	編曲	須賀 敬一

♪ ご一緒に歌いましょう ♪

遙かな友に

作詞・作曲 磯部 俣

# 曲目解説

## 第1ステージ 男声合唱のための組曲「旅」

楽譜巻末に付いているナレーション原稿を元に組曲「旅」の世界をご案内します。

1. 旅立つ日 幼い日、のびあがって窓から見た遠い空— 母の背中にすがって初めて行ったまばゆい街— そして今、たくましく育った若者たちは自らの足で、広く新しい空の下に出ようとしています。旅立つ若者の心を歌います。
2. 村の小径で 若者は、熊笹を分け、あえぎながら山を越え、静かな小さな村に降り立ちます。
3. 旅のよろこび ビルの谷間から仰ぐちっぽけなくもった青空— 工場の汚れたガラス窓から見る灰色の 青空— 今、煤煙の中から舞い上がった一匹の蝶のように、若者は山に飛び、海辺に舞い降ります。
4. なぎさ歩めば 「ぼくはこの夏もこの海へ旅してきたことがあります」「あの日、やさしく二人をつつんでくれた汐鳴りも、今はもう胸をきしませる悲しい調べでしかない」みんなが帰った浜に若者の辿る記憶の靴音がかすかに響き、やがてその音も小さくなってしまいました。
5. かごにのって 若者は、山道でひとりになりました。「おれは、おれとして生きている。・・・旅をしてここへ来たんだ。おれだけの歌だって歌える。」
6. 旅のあとに つかれ果てた若者の靴は重く、明日の地図を濡えていた眼は暗く、夜は、ふりかえる道さえ閉ざしてしまいます。「こんな筈ではなかった。道をあやまったのだろうか」
7. 行こう ふたたび 若者は、夕日を見て、いきいきとした山脈、きらめく海が心に浮かび、太陽を追って走った息の弾みをおぼえました。新しい憧れの地図を四方に向けてのぼしているのです。

## 第2ステージ 愛唱曲集

昭和34年に全国の合唱団の愛唱曲を網羅した男声合唱曲集として第1冊が発刊された「グリークラブアルバム」はたちまちのうちにあらゆる合唱団の必携となったベストセラーになりました。表紙の色から通称赤本と呼ばれたアルバムから3曲を聞いていただきます。

1. 「Agnus Dei」 「グノーのアヴェマリア」で知られるシャルル・グノーの男声合唱のための第2ミサ曲の終曲です。「神の子羊、世の罪を除きたもう主よ、われらに平安を与えたまえ」と神への祈りを込めて歌っています。
2. 「Be Still My Soul」 シベリウスの「フィンランディア」は現在のグリークラブアルバムでは原語で歌われていますが、私たちの学生時代の初版では英語に訳詞されて讃美歌としても歌われていたものが載せられていました。
3. 「婆やのお家」 林柳波の詩に本居長世が作曲したオリジナル男声合唱曲で、全国の男声合唱団の古典的な愛唱曲とも言える曲になっています。
4. 「秋の女よ」 この曲は大中恩が混声合唱曲として作曲し、後に他の4曲を合わせてピアノ伴奏による5つの歌という混声合唱組曲にした2曲目の曲です。私たちの前身である栄混声合唱団で歌ったもので、抒情的なメロディーの美しい曲を今回初めて男声合唱で歌います。
5. 「大地讃頌」 昭和37年に佐藤真が作曲したカンタータ「土の歌」の終曲です。「大地讃頌」単独で歌われる機会が多く、中学高校などの卒業式にもよく歌われる人気曲になっています。

### 第3ステージ 男声合唱組曲「月光とピエロ」

1919年堀口大学の処女詩集「月光とピエロ」に収められた五編の詩に、1949年清水脩により作曲されました。世界最初の合唱組曲です。

この詩にはモデルがいます。ピエロは、詩人アポリネール。コロンビヌ（ピエレット）は許嫁の画家マリー・ローランサンです。二人はパリの「洗濯船」というアパートで出会います。引き合わせたのは、若い画家のピカソとブラックでした。

1. 月夜 ある日、アポリネールは名画モナリザ盗難の嫌疑をかけられ、投獄されてしまいます。やがて疑いが晴れて 釈放されますが、この事件を機にローランサンとの恋が破局へと向かいます。戻って来たピエロに「コロンビヌの影もなし」だったのです。
2. 秋とピエロ 事件は詩人アポリネールの名前を一躍有名にしてみました。彼はつとめて周囲に明るく振る舞いました。「身すぎ世過ぎの是非もなく」おどける姿を演じたのです。
3. ピエロ 詩には、行の末尾に！が付けられ、やり場のない悲しみがこめられています。
4. ピエロの嘆き アポリネールは、「ててなしご」私生児でした。当時は、私生児に対する差別があり、投獄の折にも生い立ちに至るまで報道されました。自分の力では何もできない嘆きです。
5. ピエロとピエレットと唐草模様 1918年、詩人アポリネールは亡くなり、その直後に書かれた詩が「月光とピエロ」です。詩は明るい曲調で歌われますが、天国に旅立った詩人への鎮魂歌であります。

### 第4ステージ 磯部俣男声合唱名曲集

私たちは前回の定期演奏会で磯部先生の合唱組曲「パウラ」を演奏しましたが、この組曲第1曲目の「思い出のリュウデスハイム」は磯部先生と親交のあった堀部先生が初演したものでした。これを契機に今回の定演でも磯部作品を歌いたいという団員の要望を受け、堀部先生自らが選曲した曲集をいそべとし記念男声合唱団に制作依頼して今回のプログラムが出来上がりました。

磯部先生は大中恩、中田喜直など「ろばの会」の仲間と共に「大人が聞いても楽しめる新しい子供の歌」の作曲に熱心に取り組み多くの名作を残しています。今年は磯部俣生誕100年にあたる記念すべき年でもあり、心を込めて歌いたいと思います。

1. ヤマアラシ 磯部先生はまどみちおと組んで沢山の名作がありますがこの曲は「ヤマアラシはもとはウミアラシだった」という何とも奇想天外でユーモラスな1曲です。
2. びわ 昭和31年に発表された新しい子供の歌で「びわはやさしい木の実だから だっこしあって うれている・・・」とびわを優しく見上げる子供の心を歌っています。
3. いねかり 早く家に帰りたいのに、一生懸命働く親を見ると、早く帰ろうとも言えず我慢している健気な子供の優しい気持ちを歌った小品です。
4. 鬼やんま 小学生のころにトンボ採りした経験は誰にもあるはずですが。大人になって子供にいいところを見せようとムキになっている親とその子のほのぼのとした様子を歌っています。
5. いちじく 大阪朝日放送のラジオ番組「ABC子供の歌」の第1回放送のために委嘱されて作曲されたもので、水郷・潮来の川岸に熟れているいちじくを歌ったのどかな曲です。
6. さくらはなさん 「さくらの花さん咲いたけど 木だから歩いてこられない みんなで みんなで 見に行つてあげよう」とさくらの木への温かい感謝の念を込めて歌います。
7. 風の四季 歌曲として発表され、当初は2部合唱でいそべ男声でも歌われていましたが、後に指揮者となった須賀敬一氏が男声4部合唱に編曲したフォーク調の佳曲です。

# プロフィール

## 常任指揮者 堀部 隆二

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業 二期会会員(テノール)。  
畑中良輔、酒井弘、大熊文子諸氏に師事。イタリア・ミラノへ留学。マリア・カルボーネ、アリゴ・ポーラ氏に師事。  
二期会・イイノホール主催「新進声楽家の夕べ」のジョイント・リサイタルでのデビュー以来、数多くのリサイタル、コンサート、オペラに出演。  
ヤナーチェク作曲のオペラ「イエヌーフア」の日本初演(若杉 弘指揮)では、スチューバ役で出演。  
一方、「声楽発声」に大変興味と関心を持ち、東京藝術大学在学中より現在の声楽発声学会の会員となり理事を務めた。現在も、声楽発声教師として多くの声楽家を育てている。  
また、長年、清泉女学院中学・高等学校の音楽教師として教育活動に携わり、同校の元教頭。  
現在、横浜さかえ男声合唱団、湘南アマデウス合唱団、葉山第九合唱団、カトリック藤沢教会聖歌隊の常任指揮者を務めるとともに、柞(ははそ)の森音楽祭総監督・実行委員長を兼任している。



## 団員指揮者 角 祐一

高校時代に初めて聞いたコーラスに感動しその魅力の虜になった。大学グリークラブでは、学生指揮者として活躍する。さかえ男声の指揮者デビューは2005年神奈川男声合唱協会横須賀演奏会、第2回定期演奏会から1ステージを担当している。2007年11月に“さかえダンディーズ”を結成し、毎月1~2回のペースで施設訪問を行っているが、昨年で訪問回数は160回を超え、またそのために自ら編曲した歌謡曲なども150曲以上となった。  
2009年からいそべとし記念男声合唱団の団員として須賀敬一先生に師事して指揮法の研鑽を積んでいる。2011年4月から1年間FM戸塚で「コーラスであの歌この歌」のDJを務めたが、そのソフトな語り口でのナレーションが各方面で絶賛された。現在「いずみメールクワイア」指揮者 横浜市泉寿荘主催「楽しい男声コーラス」講師。昨年11月にさかえダンディーズでの永年の活動に対して横浜市栄区社会福祉協議会の功労表彰を受賞している。



## ピアニスト 飯田 由紀子

北鎌倉女子学園高等学校音楽科、国立音楽大学ピアノ科卒業。  
田口順子氏、芝治子氏に師事。  
ヤマハピアノ教室講師、ヨークカルチャー大船「イタリア名曲を歌う会」朝日カルチャー湘南「シャンソンを歌う会」、たんぽぽ「童謡を歌う会」等の伴奏。幼稚園や企業へ訪問演奏、声楽家のソロコンサート伴奏等、活動中。



## ピアニスト 首藤 亜希

東京藝術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。第40回鎌倉市学生音楽コンクール総合第1位。鎌倉市長賞、野村光一賞受賞。第19回ピティナ・コンペティションF級全国大会銅賞。  
大学在学中に学内オーディション合格、モーニングコンサートにて藝大フィルと共演。また、大学院では学位審査により選抜され、東京工業大学管弦楽団と共演。PTNA会員。鎌倉音楽クラブ(鎌倉音楽家協会)会員。  
これまで平塚久子、日比谷友妃子、田辺緑、迫昭嘉、角野裕の各氏に師事。  
現在、ソロの他、合唱伴奏、アンサンブルなどで活動し、後進の指導にも意欲的に取り組んでいる。



## 団員名簿

T1 浅田一彦 伊藤正昭 斉藤和夫 武田和久 武部幸生  
T2 塩山 弘 瀬尾弘吉 角村新太郎 菱山 武 森 博昭  
B1 飯田擴充 池田勝敏 近藤紘士 清水鏡司 中田 宏 平山正宏  
B2 浅井 豊 鈴木宏一 角 祐一 竹山行三 古見喜八郎 山辺泰治

## 最近の主な活動

平成27年5月17日(日) 第8回定期演奏会  
平成27年6月20日(土) 済生会南部病院コンサート  
平成27年7月19日(日) 介護老人施設「あさひな」訪問演奏  
平成27年9月19日(土) イトーヨーカドー店コンに出演  
平成27年9月20日(日) 本郷連合町内会・敬老の集いに出演  
平成27年10月18日(日) 栄区秋の音楽祭・合唱の祭典に出演  
平成27年11月15日(日) 第3回 懐かしのあの歌この歌コンサート  
平成28年4月3日(日) 介護老人保健施設「あさひな」訪問演奏  
平成28年5月21日(土) 済生会南部病院コンサート  
平成28年5月25日(水) 栄区文化協会20周年記念式典に出演（音楽芸能部門共演）  
平成28年9月25日(日) 栄区制30周年記念「思い出の名曲コンサート」  
平成28年10月23日(日) 栄区秋の音楽祭・合唱の祭典に出演  
平成28年11月19日(土) イトーヨーカドー店コンに出演

## 次の演奏会のご案内

♪ 思い出の名曲コンサート 2017 ♪

入場  
無料

平成29年11月19日（日）14時開演 栄公会堂

菩提樹 別れの曲 北上夜曲 若者たち 愛しき日々 群青 その他

## ♪ 入団のお誘い ♪

私達とご一緒に男声合唱を楽しみませんか?!

練習日：毎週土曜日夜6:00～8:30 練習場所：上郷矢沢コミュニティハウス

会費：月 3,000円 連絡先：塩山 弘 (TEL090-7826-4413)

ホームページ

横浜さかえ男声合唱団

検索

# 横浜さかえ男声合唱団団歌

「明日を見つめて」

作詞作曲 角 祐一

一、 ゆうやみせまる 丘の上

今宵も集いし われらが仲間

いくたの荒波 のりこえて

ふたたび春を 高らかにうたわん

横浜さかえ男声 幸あれ さかえ男声

二、 しおかせかおる 横浜の

まちに生まれし われらが仲間

あしたを見つめて 今日もまた

こころ合わせて 高らかにうたわん

横浜さかえ男声 幸あれ さかえ男声

## ♪ 皆で楽しく歌いましょう ♪

「遥かな友に」

作詞・作曲 磯部 俣

一、 静かな夜ふけにいつもいつも

思い出すのはおまえのこと

おやすみやすらかに たどれ夢路

おやすみ楽しく こよいもまた

二、 明るい星の夜は遥かな空に

思い出すのはおまえのこと

おやすみやすらかに たどれ夢路

おやすみ楽しく こよいもまた

三、 寂しい雪の夜はいろりのはたで

思い出すのはおまえのこと

おやすみやすらかに たどれ夢路

おやすみ楽しく こよいもまた